

2018年1月号

1月15日(月)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 256



凍てつく湿原と新年の幕開け…

あけましておめでとうございます。2018年が始まりました。年初めに木道を歩くと、綺麗な朝日が迎えてくれました。最低気温が -10°C 以下程度になると、木々に樹氷がびっしり付き、息を飲むような景色に出会えます。一方、雪原には獣たちの足跡。人間の事情とは違い、こちらは冬を越すために必死のようです。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【フロストフラワー】
 一定の条件が揃った朝には湿原の水面に放射状の氷の結晶が見られます。frost(霜の) flower(花)の名のとおり白い花が散りばめられているようです。



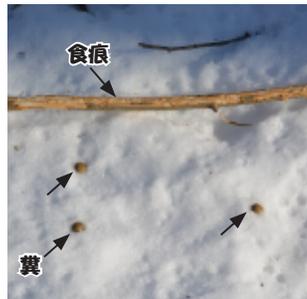
【エゾユキウサギの足跡】
 積雪した翌朝にはウサギの足跡が多く残されています。夜に活動するためその姿を見る機会はめったにありません。さて、この足跡をたどっていくと…



【エゾタヌキの足跡】
 同じイヌ科のキタキツネととてもよく似る足跡ですが、軌道がややふらつくのと、足跡の外形が丸みを帯びるのが特徴です。鶴居軌道沿いに見られます。



【ミズナラの冬芽】
 ブナ科 水楢
 ミズナラの枝先には、とげとげした冬芽がついてます。頂芽と呼ばれる冬芽の周りに頂生側芽という芽が複数あるのが特徴です。



【「イキワサギ」の糞と食痕】
 地面に落ちた樹木の皮を、こそげ取るように食べた跡が見られます。その近くには、ビー玉ほどの大きさの糞が。草食性なので糞の臭いはあまりしません。



【エゾホトケドジョウ】
 タニノボリ科 蝦夷仏泥鰌
 絶滅危惧ⅠB類にも指定されているドジョウの仲間。雪の解ける日中に、水面に目を凝らすと見られる場合があります。

○表紙の写真 上：湿原に昇る朝日 中右：冠雪した雌阿寒岳 中左：エゾユキウサギの足跡

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

冬鳥観察のシーズンに入った釧路湿原。上空やカラマツの枝先などにオオワシ、オジロワシの姿をよく見かけるようになりました。マヒワ、ベニヒワといった小鳥は昨年より見かける機会が少ないですが、冬はまだまだ続きますので今後に期待したいところです。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しておりますので、お気軽に案内カウンターまでお声がけください。



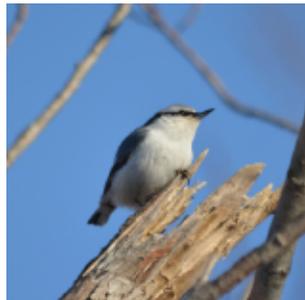
【カシラダカ】 旅鳥
ホオジロ科 頭高
南へ向かう途中の旅鳥です。雪解けの箇所では採餌していました。褐色の柄が地面と同化し、意識して見ないと存在に気づきません。



【オジロワシ】 冬鳥・留鳥
タカ科 尾白鷺
白い楔型の尾が特徴で、温根内でも時折見かけるようになりました。上空を旋回していたり、カラマツなどの樹木に止まっています。



【ミソサザイ】 留鳥
ミソサザイ科 鶺鴒
温根内では春先と初冬に見かける、国内最小クラスの野鳥です。ヨシ原などの間から「チャッ、チャッ」という元気な声で鳴きます。



【ゴジュウカラ】 留鳥
ゴジュウカラ科 五十雀
よく混群を作って移動しており、他のカラ類とはひと回りサイズが大きい種です。複雑な声で鳴き、森の中に響き渡ります。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(12月15日～1月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順
■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■ノスリ■フクロウ■コゲラ■コアカゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■ツグミ■ノゴマ■セグロセキレイ■カシラダカ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆



○「湿原アニマルトラッキング」1月14日 参加者：17名

空は快晴となり絶好のウォーキング日和となったこの日、雪に閉ざされた湿原で暮らす動物たちの生態を探るアニマルトラッキングを実施しました。講師は釧路市立博物館の貞國学芸員にお願いしました。まず、館内にて動物ごとの生態や痕跡の特徴などのレクチャーを受けた後、野外へ出発しました。出発後、早くも雪原にはネズミ類の足跡が多数残されており、その小さな足跡の可愛さに参観者からは驚きの声が聞かれました。その後も、エソユキウサギやキタキツネ、エソタヌキといった様々な動物の足跡や糞、食痕が観察できました。また、湧水地では水温を実際に計測して湧き水が厳寒期の今でも5℃前後の温度を保っていることも学びました。会の最後には雪原に予め隠しておいた動物のぬいぐるみを探す恒例のイベントも行い、見つけた参観者からは歓声が上がりました。雪の中でも逞しく生きる動物たちに思いを馳せることのできた1日となりました。

☆☆☆☆ もちつき大会が開催されました ☆☆☆☆

1月13日、ビジターセンターにて釧路湿原パークボランティア主催の新春もちつき大会が開催されました。力自慢のつき役と、こね役の息の合った作業で30kg以上(!)用意されたこの日のもち米は、次々とおもちへと姿を変えました。ついたおもちは屋内でスタンバイしていた女性陣の手によって、お雑煮、餡もち、草もちと、バリエーション豊かなつきたもち料理へ仕上げられ、参加者らは舌鼓を打ちました。初めてもちつきを体験したという人も多く、素人からベテランまで楽しい経験になったようでした。今年も皆さんにとって良い1年でありますように!



☆☆☆☆ **ビジターセンターの館内設備が充実しました** ☆☆☆☆

【フリーWifiに接続ができるようになりました！】

このたび、当ビジターセンター館内でフリーWifiへの接続ができるようになりました。館内にてお手持ちのスマートフォンやタブレット等のネットワーク接続設定画面を開くと、「TSURUITANCHO」という項目が出てきますので、こちらを選択して接続すればOK！これでビジターセンターの館内であればどこでもインターネット接続が可能になります。※ご不明な点があればビジターセンター職員までお尋ねください。

ネットワーク接続画面の「TSURUITANCHO」を選択



スマートフォン等のネットワーク接続画面

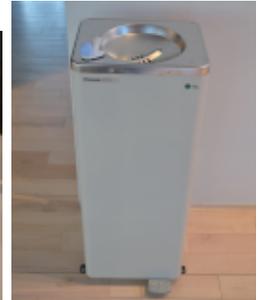
【窓際に双眼鏡を設置しました！】

テラス側の大きい窓沿いに、テーブルと双眼鏡をセットしました。窓からはヨシ原とその奥にハンノキ林が見渡せます。今の時期であれば、野鳥はおもにカラ類やキツツキ類などの留鳥が見られ、春から秋にかけてはウグイスやベニマシコといった夏鳥たちがよく観察できます。お気軽にご利用ください。



【上水道が使えるようになりました！】

これまでご不便をおかけしておりましたが、浄水設備の追加工事が無事終了し、館内の水道がご利用できるようになりました。今後は手洗い・ウォシュレットのほか、冷水器もご利用になれます。



☆☆☆☆☆イベントのご案内（2月）☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪歩くスキーで湿原ハイク

〔日時〕2月11日（日）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料（スキーのレンタルも無料です） 〔場所〕温根内ビジターセンター

雪の積もった湿原と周辺の森を歩くスキーで巡り、冬ならではの湿原を楽しみましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪釧路湿原フィールドウォッチング

〔日時〕2月10日（土）10：00～12：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕憩の家茅沼駐車場

～もう少々お待ちください～

例年だと、スキー・スノーシューの無料貸し出しを行っている時期なのですが、今シーズンはまだ雪が少ないため、貸し出しをしておりません。貸し出しの開始時にはFacebook等でお知らせいたしますので、お楽しみにされている方は、こまめにチェックしてみてください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

月刊 温根内通信 No.256

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～16：00（4月～10月は17：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料